

りんご

放送大学青森学習センター・八戸サテライトスペース

vol.
112

令和4年10月発行



～青森学習センター・八戸サテライトスペース学位記授与式と入学者のつどい～
(10月1日・10月2日撮影)



祝卒業・入学／学生生活応援号



- 2 | 巻頭言「国と都市名の変更」浅野 清 所長
- 3 | “Professional Report” 山本 雄大 先生
- 4 | 2022年度第1学期学位記授与式、
学生表彰、卒業生のことば
- 6 | 2022年度第2学期入学者のつどい、
学生生活をスムーズに送るために
- 7 | 各種学生団体のごあんない
〈青森同窓会・学友会・ミステリーサークル・サイコロサークル〉

- 8 | 公開講演会レポート〈黒石市・八戸市・青森市〉
パソコン入門講習〈青森SC・八戸SS〉
公開講演会・講習会開催のごあんない
- 10 | 学習相談とゼミのごあんない
- 11 | 10・11・12・1月のスケジュール
- 12 | 事務室からのお知らせ



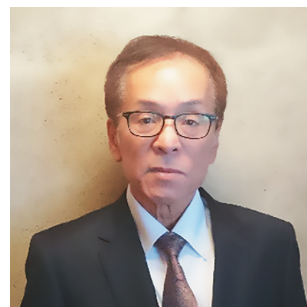
放送大学青森学習センター
ウェブサイト 放送大
八戸サテライト 放送大
青森同窓会 放送大

巻頭言

-かんとうげん-

国と都市名の変更

青森学習センター所長 浅野 清



ロシアのウクライナ侵略が始まってすぐ、メディアでのウクライナ都市の呼称が変わった。支援と連帯を示すことを目指し、日本政府からウクライナ政府に提案したことによるものでした。キエフからキーウ、オデッサからオデーサ、ドニエプルからドニプロ、1986年に原子力発電所事故が起きたチェルノブイリはチェルノービリと、ウクライナ語読みへの変更です。この時の日本政府の対応は本当に早く、目を見張るものがありました。続いてウクライナの隣国モルドバからの要請により、首都キシニョフを公的に使われているルーマニア語読みのキシナウに変更しています。

この数年、いくつかの国が名称などの変更を発表しています。ロシアとトルコに挟まれたグルジアが2008年以降、「ジョージア Georgia」と変更するよう各国に要請し、日本では2015年になって法律の改正と共に施行されました。アメリカに同名の州があるので、当初は違和感を持ちましたが、今では大分慣れてきたように思います。

オランダの場合は、2020年1月に正式名称を英語の「The Netherlands」に統一することを発表しました。中学生で初めてオランダの英語名を見た時に、何故こんなに違うのだろうと思ったことがあるのは私ばかりではないのではないのでしょうか。日本語での「オランダ」は変更がないというので安心ですが、海外旅行に行くときや英語で会話する時は注意が必要かもしれません。

もう一つはトルコ。英語での国名は Turkey ですが七面鳥の意味でもあることから、国連での表記はトルコ語の発音による Türkiye (トルキエ) になりました。英語の正式名称は the Republic of Türkiye、日本語ではトルコ共和国のまです。

日本の国名はどうだろうか。英語では「Japan」、日本語では「日本国 にほんこく」「日本国 にっぽんこく」の2通りがある。日本語のほうはどちらを使っても良いことになっているなど、日本らしいともいえるのだが、外国人に正式な国名・発音について質問されても答えられなかったことが、なんとも悔しい。



浅野所長による学習相談日

相談分野 ▶ 音楽全般

相談日 ▶ 火～土曜日（祝日を除く）



浅野所長による公開講演会

ベートーヴェンのピアノ・ソナタと共に

日時 12月4日（日）13:00～15:00

会場 弘前大学創立50周年記念会館みちのくホール

申込み・問合せ 放送大学青森学習センター

TEL 0172-38-0500 / FAX 0172-38-1299

メール aomori.center@gmail.com

Professional Report

差別を口にする心理過程とは？（後編）

客員教員 山本 雄大 （八戸学院大学健康医療学部准教授）

前回お話しした通り、私たちは心の中で被差別集団に対する否定的評価に基づく嫌悪や敵意を抱いています。このため、自制が緩めば、差別が言動に現れてしまうこととなります。では、どのような時に自制が緩むのかということになりますが、それは差別を正当化できる時だと考えられています（e.g. Crandall & Eshelleman, 2003）。ただ、差別を正当化するためのプロセスにはいくつかあり、それらを使い分けたり組み合わせたりして正当化をおこなっています。

ひとつめのプロセスは、被差別属性が制御できるものであることを根拠に差別を正当化してしまうというものです。例えば、人種差別とコロナワクチン未接種者に対する差別を比べたとき、それらを口にする心理的ハードルは同じでしょうか。たぶん、後者のハードルが低いと感じる人が多いはずです。これは私たちにとって、ワクチン接種が個人の意思や努力で制御できるものであるように感じられるからです。その結果として、私たちは自分が差別を口にしていることを棚に上げて、差別を受けるのが嫌ならワクチン接種を受ければ良いだけだと、彼らへの差別を口にすることを正当化してしまうということが起こります。独身者や喫煙者に対する差別など現代社会でも見かけることがある差別の背景にも、この制御可能性認知の影響を見てとることができるように思います。

ふたつめのプロセスは好意や配慮に見える形で表現される差別を正当化してしまうというものです。例えば、「女性は社会的弱者である」と口にすることは明確な差別ですが、「力の弱い女性は守られるべき存在である」という女性に対する配慮の提供として表現するのであれば、自らの言動を正当化しやすく、口にすることへのハードルが下がることとなります。これ以外にも差別を正当化するプロセスはあるのですが、ここでは割愛させていただきます。次に面接授業を担当することになった際には差別の話をしようと思っていますので、興味がある方は是非、そちらで詳しく学んでいただければと思います。





2022年度第1学期学位記授与式

2022年度第1学期学位記授与式が、10月1日（土）青森学習センター、10月2日（日）八戸サテライトスペースにて行われました。今回、教養学部卒業を迎えた学生方は、青森SC・八戸SSをあわせて20名。式当日は出席者ひとりひとりに浅野所長から学位記が授与されました。卒業生の皆様、このたびはおめでとうございます！！



青森学習センター



八戸サテライトスペース

2022年度第1学期 教養学部卒業生の内訳（青森SC計10名・八戸SS計10名）

青森SC 生活と福祉…4名／心理と教育…6名

八戸SS 心理と教育…5名／人間と文化…1名／自然と環境…1名／社会と産業…3名

第12回 放送大学青森学習センター学生表彰

青森学習センター・八戸サテライトスペース所属学生の生涯学習に対する奨励を目的として、平成26年度より「放送大学青森学習センター学生表彰」を行っています。

今回は、八戸サテライトスペースの卒業生1名が受賞者となり、長年にわたり学業に励んだ功績を称え、表彰状と記念品が授与されました。

このたびはおめでとうございます。今後も飽くなき向学心で学業に励んでください！！



学位記授与式スナップ集



仕事のち介護・子育て、ところによって大学生

八戸サテライトスペース 心理と教育コース 木村 隆子

6年前の私は暗闇の中を為す術もなく手探りで歩いていました。朝4時半起床、食事と弁当作り。6時出勤、6時半には職場のPCを立ち上げメールチェック。週末には部活動の大会や練習試合。自分の子の部活動送迎、「親の会」の仕事、認知症の親の介護。やがて健康を害し、手術も2回しました。退院後、病院の待合室で放送大学のパンフレットが目につき、気づいたら八戸サテライトで入学手続きをしていました。仕事、家庭、介護で疲労困憊、八方塞がりの私の生活に光が差し込みました。そして早6年が過ぎ、2人の子どもは進学・就職で親元を離れ、転職した私は介護に専念。この春、両親を続けて看取り、火葬・葬儀でバタバタしながら単位認定試験に臨みました。すると奇跡的に卒業が決まり、驚き、寂しさを感じました。唯一、好きでやっていた放送大学の学習。自分らしくあれた時間。私の人生に、「光」を灯してくださった母校放送大学、職員の皆様に衷心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



「学ぶ」ということ

八戸サテライトスペース 人間と文化コース 元沢 清則

卒業まで丸10年掛かってしまいました。原因は、勉強不足のため合格点に届かなかったり、試験日に仕事が入り受験できなかったりいろいろですが、9割は自分のやる気の問題だったと思います。なによりも、長い期間同じモチベーションを保つのが難しかった気がします。

放送大学への入学は学士認定の為でしたが、学んでいくうちに新しい知識を得ることや知識が深まることへの喜びと満足を感じるようになり、徐々に学ぶこと自体が目的に変わりました。そして、人間は誰もが不完全な存在であり、生涯学び続ける必要があることも、ここで学びました。

還暦を迎えましたが、これからも「学び」は生きている限り続けて行きたいと思っています。



学びの継続の大切さ！！

青森学習センター 心理と教育コース 山谷 國廣

定年退職後、学び忘れを取り戻す為2016年10月に放送大学へ入学し、2020年に「生活と福祉」コースを卒業出来ました。半世紀ぶりの勉学は苦難に満ちたものでしたが、学習センターのスタッフの皆様、学友に支えられ卒業出来たのが2年前でした。

継続入学は逡巡したのですが、孫の幼稚園、小学入学と重なり関わりが増えるのに伴い、「心理と教育」コースに再入学を決意致しました。過去4年間の苦しい体験がこの2年間の学習に活かされました。「虎穴に入らずんば虎子を得ず」の例えの通り、勇気を持って事に当たる大切さを改めて感じました。センターのスタッフの皆様ありがとうございました。



学位記授与式スナップ集



2022年度第2学期入学者のつどい

10月1日（土）と10月2日（日）の両日、青森学習センターと八戸サテライトスペースにて「2022年度第2学期入学者のつどい」が行われました。

放送大学学歌演奏や学長挨拶の上映、センター所長式辞、入学生と在学生代表の挨拶、学友会会長祝辞、教職員紹介のほか、オリエンテーションや施設見学などを行いました。



（上）入学生の挨拶
（左下）所長式辞
（右下）在学生の挨拶



（上）入学生の挨拶
（左下）在学生の挨拶
（右下）客員教員の紹介

10/1（土） 青森SC

10/2（日） 八戸SS



全学生必見！ 学生生活をスムーズに送るために

新学期を迎え、放送大学での学習を始める入学生・在学生の方へのお知らせです。

■ 活用しよう「学生生活の栞」と「利用の手引き」

「学生生活の栞」と「利用の手引き」は、履修に関するきまりや、各種届出様式など、学生生活を送るうえで重要な事項が満載の冊子です。大切に保管のうえ、よく読んでご活用ください。

■ システム WAKABA のパスワード変更はお早めに

システム WAKABA に初期パスワードでログインし、ホーム画面 左側にある「パスワード変更」で、初期パスワードから変更をしていただくようお願いいたします。ログインできない場合は、お問合せください。

■ 学生証の受取

学生証は、図書室・視聴学習室の利用や面接授業の追加登録申請、単位認定試験を受験する際（「学習センター受験」の場合）に使用します。

青森学習センター・八戸サテライトスペースの事務室窓口で交付いたします。新規入学・継続入学生は入学許可書を、在 student で学生証の有効期限切れの方は有効期限切れ学生証を窓口へご持参ください。郵送を希望する方はお問合せください。なお、顔写真を登録していない場合は発行ができませんので、システム WAKABA の「学生カルテ」または「学生生活の栞」巻末様式の「写真票」使用にて速やかに登録してください。



■ 学生教育研究災害傷害保険〈学研災〉への申込み ※任意

教育活動中や通学中における事故補償のための保険です。放送大学は通信教育に区分されており、保険料は100円、通学中の特約を含む場合は140円となります。保険期間は、入学後から学籍が続く限り最大6年間となります。ただし、加入日にかかわらず、4月入学者の保険終期は3月31日に、10月入学者の保険終期は9月30日になりますのでご注意ください。

詳細につきましては、入学生の方は先に送付の『「学研災」のご案内』にてご確認ください。

学生生活をもっと楽しく！各種学生団体のごあんない

★入会ご希望の方は、青森学習センターまたは八戸サテライトスペースへお問い合わせください。

★**学生団体の設立について** 学生が研究やスポーツなどのため、学生団体（サークル）を結成しようとするときには、学生の中から責任者を定め、「学生団体結成願」等の必要書類を4月または10月に責任者が所属する学習センターへ提出し、設立の許可を受ける必要があります（「学生生活の栞」教養学部版 P117参照）。詳細については、青森学習センター事務局へお問い合わせください。

青森同窓会

「青森同窓会から～同窓会活動の再開に向けて～」

青森同窓会会長 関川 宏明

今年度は、新型コロナウイルスへの対策を行いながら、5月に弘前市で定例総会を開催したほか、4月と10月には卒業式後の祝賀会を開催するなど、徐々に活動を再開しております。一方、例年開催しております同窓生と在学生とが交流を深める集まりなどについては、当初、8～9月頃を予定しておりましたが、感染症の再拡大により実施を見送りました。

第2学期こそは、感染拡大防止に配慮しながら、可能な限り対面での交流会を開催したいと考えております。開催にあたっては、他の同窓会の事例を参考に、対面参加者とオンライン参加者とを繋ぎ双方向で交流会を行うハイブリット方式での開催も検討しております。



卒業祝賀会の様子

学友会

「情報交換に学友会の利用を!!」

学友会会長 田澤 豊

未だに、終息の見えない新型コロナ感染症のため、学生間交流の希薄な放送大学で情報交換の場の親睦会等の活動が、令和2年度から、残念ながら休止状態です。

以前は、春に「観桜会」、秋に「そば打ち」など、年に数回の親睦と情報交換の集まりを開催しておりました。今後は、社会活動が徐々に緩和されているので、3密防止などのコロナ対策をしながら、活動の再開を考えております。

コミュニケーションの取り方が、リモートなど今は、多種多様になりましたが、基本は、直接「顔と顔を合わせる事」ではないでしょうか。

学生の皆様には、学友会に参加し、情報・学習方法の交換・息抜き方法を見つめるため、交流の場としませんか。是非、入会をお願いします。

申込受付は、センター事務局にお願いしております。



2019年度の様子

ミステリーサークル

「ミステリーサークル・会員募集中!」

ミステリーサークル総長 上野 光弘

ミステリーサークルは、学生相互の研鑽、親睦と交流を目的に活動しています。会費は無料です。学習相談も実施しております。入会したい方は、サテライト事務までご連絡下さい。

新型コロナの感染拡大で中止になっていた文化祭でしたが、令和4年4月16日、17日に久々に開催できました。コロナ禍で失われていた「人とのつながり」を再び感じ取ることができたと思います。

いつものアカデミックカフェやマジックショー、こだわりのコーヒーのほか、アクセサリー作り、VR体験、クイズといった新企画も実施しました。

文化祭に展示したい写真や絵画、趣味で作成している発表したいものなどありましたら、ご連絡ください。



文化祭で作成したアクセサリー

サイコロサークル

「『論文、レポートの作成の要点』講義レポート」

今は仕事や対人関係などにも役立つ「リハビリテーションのための行動分析学入門」をテキストとして勉強していますが、1学期初頭に行動分析の平岡先生のご厚意で、学生どなたも参加可能な「論文、レポート作成の要点」の勉強会を開催しました。卒業研究だけでなく面接授業のレポートにも役に立つ内容で、ユニークな例を交えて分かりやすい講義はあっという間の1時間でした。講義後は、「面接授業で自分が提出したのはレポートではなく所感文だった」との反省があちこちでありました。これで、これからの面接授業は「バッチリ!」と思いきや、私には「!こんなはずでは…」のところもありましたが、確実に成果があったと自己評価（自己満足）しています。サイコロサークルでは、今後も、ためになる企画をドンドン行っていく予定です。一度サークルを覗いてみてください。

(正子)



熱弁の平岡先生とやる気全開の参加者

公開講演会レポート

*** 公開講演会の様子を写真と浅野所長によるレポートでご紹介いたします ***

6/29
(水)

健康長寿に挑むー老化とのつきあい方を探ろうー

講師：戸塚 学 氏（弘前大学教育学部教授・青森学習センター客員教員）
会場：黒石公民館多目的ホール



人間は誰しも生まれてから成長し老化するが、最後まで自立した人生を送るための体力づくりには3要素「習慣的な運動」「適度な栄養」「質の高い睡眠」があり、健康長寿実現の秘訣であるということから講演が始まった。生活習慣の乱れ、即ち肥満、喫煙、飲酒などが加齢とともにメタボリックシンドローム（高血圧、糖尿病、脂質異常）により「命の終点（平均寿命）」を引き下げる原因となっていること、一方「元気な生活の終点（健康寿命）」を迎えるための対策として、ロコモティブシンドローム（骨粗しょう症、関節障害、筋肉減少）に有効な持久性の運動「ストックウォーキング」・筋力トレーニング「チューブトレーニング」を提案していただきました。



8/20
(土)

方言から地域を考える

講師：桒谷 伸夫 氏（八戸市公民館館長）
会場：ユートリー 8階多目的中ホール



県無形民俗文化財である八戸市鮫町に伝わる「墓獅子」が講師の先生によって歌われました。体に沁みこんでくるような声とはつきり浮かび上がってくる情景に、来場者の誰もがその空気に浸ってしまうような体験をしました。死者を弔う神仏習合である鮫神楽の例をはじめとして、地域文化伝承の現状を方言に絡めて話が進みました。

教育の現場で方言がどう扱われてきたかを説明し、ユネスコの「方言がどの程度次の世代に伝承されているか」の基準に照らすと、南部弁が【重大な危機】に指定してもよい状況であることを訴えました。方言に込められた故郷への誇りを失わない努力が必要であることを感じた講演会でした。



公開講演会と
講習会のご案内

近世の廻船ー「北前船」をめぐる諸問題と盛岡藩領における廻船の建造動向ー

講師 石山 晃子 氏（青森大学客員教授）
日時 10月29日（土）
13:30～15:00
会場 下北文化会館大集会室

申込み・問合せ

むつ市教育委員会生涯学習課
TEL：0175-22-1111（内線3143）

コロナ禍を乗り切るためにー感染対策の基本と腸内環境が作る免疫力ー

講師 藤田 あけみ 氏（弘前大学大学院保健学研究科教授・青森学習センター客員教員）
日時 11月19日（土）
13:30～15:00
会場 つがる市立図書館セミナー・学習室

申込み・問合せ

つがる市立図書館 TEL：0173-25-3131

8/30
(火)

「誰一人取り残さない」SDGs 達成のためにー性の多様性と人権の視点からー

講師：山下 梓 氏（弘前大学男女共同参画推進室助教）
会場：県民福祉プラザ 4 階県民ホール



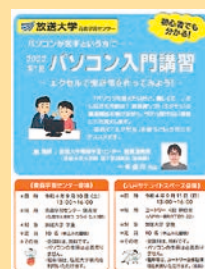
国連サミットで採択した 17 の持続可能な開発目標 Sustainable Development Goals を性の多様性・人権の課題を通して検証し、脆弱な立場の人は誰かという視点を持って取り組むことによってSDGsが達成されること、第一義的には国家に責任があること、そして私たち一人一人が取り組むことで誰一人取り残さない社会が得られるのだと学ぶことができました。



パソコン入門講習 ～エクセルで家計簿を作ってみよう！～

講師 一條 健司 氏

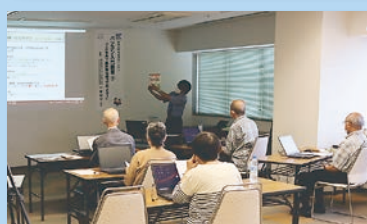
弘前大学大学院理工学研究科准教授
青森学習センター客員教員



9/10(土)と9/11(日)に、青森学習センターと八戸サテライトスペースで「パソコン入門講習」を開催しました。"Microsoft Excel" を使用して、家計簿作りをしながら、パソコン操作に慣れ親しんでいただきました。参加者の感想をご紹介します！

エクセルをあまり使えないので参加しました。「家計簿を作る」ということだったので関数を使うのかと思っていましたが、自分で式を作成する内容でしたので、達成感がありました。グラフ作りにも挑戦できて満足でした。わからない点はサポーターの方々が丁寧に教えてくれたので、問題なく終了できました。有意義で楽しい一日でした。次は色々な計算式をはじめ関数に挑戦したいです。

青森学習センター 福澤 晶子



今年度は単位認定試験がWeb受験方式になり、パソコンのない私は「困ったなあ。」と思いつつも八戸サテライトで借りるつもりで操作体験の申し込みもしておりました。近づくにつれて「遅れるな、これもチャンス。」と考えパソコン購入を決断しました。サテライト受験をキャンセルし自宅受験を取りました。慣れない受験に数科目は強制遮断終了も経験しました。血圧・心拍数の記録はありませんが、ひさびさのマックスだったことでしょう。運も手伝って幸い合格でしたので、今なら笑えるのですが。

次に備え「パソコン入門講習」を受講しました。「エクセル？アクティブセル？何だそれは。」というレベルの私でも楽しく勉強できました。楽しいと脳も足腰も頑張るようです。また階段を一つ上がったような気持ちです。これも、一條健司先生の丁寧な解説と、事務局スタッフ総力を挙げてのご支援のお陰と感謝しております。チャンスありがとうございました。

八戸サテライトスペース 星 守路

12/4(日) ベートーヴェンのピアノ・ソナタと共に



青森学習センター浅野所長による公開講演会を開催します。詳細は、本誌2ページをご覧ください。

パソコン入門講習～ワード入門！～

2023年 2月18日(土)八戸サテライトスペース

2月19日(日)青森学習センター

※詳細は後日ご案内いたします

公開講演会と講習会ご案内

2022年度第2学期 学習相談とゼミのごあんない

●学習相談・ゼミは、事務室窓口または電話にて申込みを受付します。①氏名、②連絡先、③ゼミ名または相談日をお知らせください。●案内チラシや各ゼミのシラバスを、青森学習センター・八戸サテライトスペースで配布しているほか、青森学習センターウェブサイトでも公開しております。●ゼミは学期途中からでも参加できます。単位にはなりません、客員の先生や他の学生たちと学べる良い機会です。お気軽にご参加ください。●ゼミの日程は、都合により変更・中止となる場合があります。センター・サテライト掲示板や青森学習センターウェブサイトを確認できない場合は、お電話にてお問い合わせください。また、不測の事態発生の際には、学習相談・ゼミをオンライン会議形式（Zoom等）へ変更する場合があります。



青森学習センター

一條 健司 先生

弘前大学大学院理工学研究科
准教授

相談分野▶情報工学

相談日▶火曜 10:20～12:20

ゼミ▶指定の火曜 10:50～11:50

『コンピュータ科学入門』



今井 正浩 先生

弘前大学人文社会科学部
教授

相談分野▶西洋古典学、古典ギリシア語・ラテン語

相談日▶火曜 12:30～14:30

ゼミ▶指定の火曜 13:00～14:00

『ギリシア悲劇入門-ソポクルス『オイディプス王』を読む』



戸塚 学 先生

弘前大学教育学部
教授

相談分野▶健康科学

相談日▶火曜 15:00～17:00

ゼミ▶指定の火曜 15:30～16:30

『健康科学の理論と実際』



成田 拓未 先生

弘前大学農学生命科学部
准教授

相談分野▶農業経済学

相談日▶水曜 10:00～12:00

ゼミ▶指定の水曜 10:30～11:30

『持続可能な開発目標= SDGs と食・農』



田名場 忍 先生

弘前大学教育学部
教授

相談分野▶社会心理学・臨床心理学

相談日▶指定の木曜 9:45～11:45

ゼミ▶指定の木曜 10:15～11:15

『心理学の研究と研究法へのいざない』



藤田 あけみ 先生

弘前大学大学院保健学研究科
教授

相談分野▶看護学

相談日▶金曜 16:00～18:00

ゼミ▶指定の金曜 16:00～17:00

『看護学』



八戸サテライトスペース

若生 豊 先生

八戸工業大学
名誉教授

相談分野▶応用生物化学・環境科学

相談日▶火曜 13:30～15:30

ゼミ▶指定の火曜 14:00～15:00

『今日の暮らし・医療に見る最新ゲノム科学』



山本 雄大 先生

八戸学院大学健康医療学部
准教授

相談分野▶社会心理学

相談日▶金曜 14:00～16:00

ゼミ▶指定の金曜 15:00～16:00

『社会的行動とその心理』



八戸
サテライトスペース
ゼミの様子

10月・11月・12月・1月のスケジュール

閉所日
面接授業
通信指導提出締切
単位認定試験

新型コロナウイルス感染症の状況により、急なスケジュール変更をする場合があります。青森学習センターウェブサイトでお知らせいたします。

	月	火	水	木	金	土	日
10月						1	2
	3	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15	16
	17	18	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28	29	30
	31						

		月	火	水	木	金	土	日
11月			1	2	3	4	5	6
		7	8	9	10	11	12	13
		14	15	16	17	18	19	20
		21	22	23	24	25	26	27
		28	29	30				

12月	月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3	4
	5	6	7	8	9	10	11
	12	13	14	15	16	17	18
	19	20	21	22	23	24	25
	26	27	28	29	30	31	

	月	火	水	木	金	土	日
1月							1
	2	3	4	5	6	7	8
	9	10	11	12	13	14	15
	16	17	18	19	20	21	22
	23	24	25	26	27	28	29
	30	31					

10月

- 1日(土) 2022年度第1学期学位記授与式・
2022年度第2学期入学者のつどい(青森)
- 2日(日) 2022年度第1学期学位記授与式・
2022年度第2学期入学者のつどい(八戸)
- 15日(土) 2022年度第2学期面接授業
【12時】空席発表・追加登録事前申請受付開始《～10/19》
- 20日(木) 2022年度第2学期面接授業
追加登録先着申請受付開始《～各科目の受付期限日》

面接授業

15～16日「キリスト教哲学の歴史」(八戸)
29～30日「健康生成論とストレス対処力」(八戸)

11月

- 8日(火) 2022年度第2学期通信指導提出受付開始【Web】
- 15日(火) 2022年度第2学期通信指導提出受付開始【郵送】
- 24日(木) 単位認定試験「学習センター受験」申請締切《郵送必着》
- 26日(土) 2023年度第1学期出願受付開始【Web・郵送】
《～3/14 教養学部、大学院修士選科生・修士科目生》
- 29日(火) 2022年度第2学期通信指導提出締切
《郵送必着／Webは17時まで》

面接授業

5～6日「英語で地元を語ろう」(青森)
「性格心理学入門」(八戸)

12～13日「心理検査法基礎実習」(青森)

19～20日「はじめからのパソコン操作」(青森)

26～27日「心理学実験1」(青森)
「是川遺跡の縄文考古学」(八戸)

12月

面接授業

3～4日「青森の食品機能学」(青森)
「計算機を用いた音の生成・加工」(八戸)

10～11日「芸術は人生に必要な夢、魂の救済」(青森)
「光と私たちの日常生活」(青森)
「SDGsを読み解く」(八戸)

17～18日「曲名でたどる西洋音楽の歴史」(青森)
「シミュレーションと機械設計」(八戸)

24～25日「健康長寿のための運動理論と実際」(青森)

1月

- 4日(水) 臨時閉所日 ※青森・八戸
- 17日(火) ～25日(水) 2022年度第2学期単位認定試験 Web受験
- 26日(木) 臨時閉所日 ※青森・八戸

面接授業

7～8日「上京、Uターン、観光の人類学」(青森)
「データ科学入門」(八戸)

★年末年始の閉所日★

12月28日(水)～1月4日(水)

★自動車入構規制日★

1月14日(土)～15日(日)

大学入学共通テスト実施のため、弘前大学の駐車場を利用することができません。青森学習センターへお越しの際、入構時に学生証の呈示を求められる場合もありますので、必ずお持ちください。

面接授業

★不測の事態により対面の面接授業が開講できなくなった場合は、科目によって、Web授業による実施または閉講のいずれかへ変更となります。シラバスをご確認ください。★定員に余裕のある科目について、追加登録を受付中です。空席状況等の詳細は、青森SC・八戸SSへお問い合わせください。

単位認定試験

★2022年度第2学期の単位認定試験は、1月17日～25日に、Web受験方式で実施いたします。大学院と教養学部いずれも、この期間内に自宅等で受験してください。★自宅等でWeb受験をすることができない方は「学習センター受験申請書」を必着で提出してください。



事務室からのお知らせ



通信指導を提出しましょう ※「学生生活の栞」教養学部版 P 6 5、大学院版 P 6 4 参照

通信指導を提出し、合格して初めて単位認定試験の受験資格が得られます。未提出あるいは提出期限までに到着しなかった場合は、単位認定試験が受けられませんので、余裕を持って提出してください。11/4までに通信指導問題が届かない場合は、大学本部（総合受付 TEL:043-276-5111）に連絡してください。



【提出期間】★Web通信指導の場合 …11/8(火) 10:00 ~ 11/29(火) 17:00

★郵送提出の場合 …11/15(火) ~ 11/29(火) **大学本部必着**

学習センター受験をご希望の方へ ※「学生生活の栞」教養学部版 P 6 9~7 0、大学院版 P 6 8~6 9 参照

2022年度第2学期の単位認定試験は【Web受験方式】（一部科目は郵送受験方式）です。ご自宅等にWeb受験できる環境が無い方、または機器の操作が困難等の事情のある方は、事前に申請することにより、学習センター・サテライトスペース・ブランチ試験場でWeb受験を受けることができます（＝「学習センター受験」）。「学習センター受験」を希望する方は、申請期間内に手続きをしてください。また、学習センター・サテライトスペースでWeb受験の「操作体験会」を開催します（別紙、単位認定試験についての案内をご覧ください）。

【手続き方法】学習センター受験申請書（印刷教材、番組ガイド等送付物に同封しています）を郵送提出

【申請期間】10/1(土) ~ 11/24(木) **必着**

各種証明書の発行について ※「学生生活の栞」または「利用の手引き」にて詳細を必読のうえ申請してください。

証明書の発行を希望の際は、「学生生活の栞」巻末様式の『諸証明書交付願』に所要事項を記入のうえ、発行手数料（**1通につき200円**）を添えてお申込みください。



郵送での申込方法

①『諸証明書交付願』②発行手数料（**郵便定額小為替証書**）③返信用封筒（長形3号、切手貼付、宛名明記）を**青森学習センター**へお送りください。現金送付の場合は**現金書留**をご利用ください。また、証明書の数や種類によって重量が異なりますので、返信用封筒の切手は**94円以上**をおすすめします。証明書の種類によっては発行まで2週間程度を要する場合があります。

窓口でのお支払いの際のお願い

つり銭の用意が無いため、細かい紙幣、小銭をご準備いただくか、事前に支払額のわかる場合は丁度の金額をお持ちください。ご協力をお願い申し上げます。

再視聴施設【あおもり校・むつ校】をご利用ください

学習センターやサテライトスペースのほかにも、放送授業を再視聴できる施設を設けています。青森県内には、青森市の青森市民図書館内「**青森学習センターあおもり校**」、むつ市のむつ市立図書館内「**青森学習センターむつ校**」があります。お近くにお住まいの方は是非ご利用ください。ご利用の際には、学生証をご持参いただき、各図書館の利用案内に従ってください。

2023年度第1学期 入学生募集

教養学部生、大学院修士選科・科目生大募集！

ご友人、ご家族・ご親戚、ご同僚など、皆様の周りに「学び」に関心のある方がいましたら、この機会にぜひ放送大学をご紹介します。

口コミでどんどん学友の輪を広げましょう。もしかしたら、身近なあの人が4月にはともに学ぶ仲間になっているかも…？もちろん、継続入学生も大歓迎です！

【出願期間】11/26(土) ~ 3/14(火) **私書箱必着**

★募集要項は、事務室窓口またはお電話、放送大学ウェブサイトからも請求できます。★体験学習・入学相談を随時承っておりますので、お気軽に学習センター・サテライトスペースにお問い合わせください。

青森学習センター

〒036-8561 青森県弘前市文京町3 コラボ弘大7階

TEL: 0172-38-0500 FAX: 0172-38-1299 Twitter: @aomoricenter

八戸サテライトスペース

〒039-1102 青森県八戸市一番町1-9-22 ユートリー4階

TEL: 0178-70-1663 FAX: 0178-70-1667

青森学習センターむつ校

〒035-0073 青森県むつ市中央2-3-10 むつ市立図書館内

TEL: 0175-28-3500 FAX: 0175-28-3400（※視聴・貸出のみ対応）

青森学習センターあおもり校

〒030-0801 青森県青森市新町1-3-7 青森市民図書館内（アウガ8階）

TEL: 017-776-2455 FAX: 017-776-2400（※視聴・貸出のみ対応）

放送大学ウェブサイト <https://www.ouj.ac.jp/>

青森学習センターウェブサイト <https://www.sc.ouj.ac.jp/center/aomori/>

